

「2026 年度日本哺乳類学会特別賞」授与候補者の推薦募集について

日本哺乳類学会特別賞規定により、「2026 年度日本哺乳類学会特別賞」の選考を行います。つきましては、学会員から候補者の推薦を募ります。この推薦に基づき、理事会は十分な審議を行い、理事による投票で 5 分の 4 以上の賛成が得られた者を特別賞授賞者に決定します。なお、特別賞は、長年にわたる研究活動を通じて、哺乳類学ならびに日本哺乳類学会の発展に寄与した本学会正会員（概ね 70 歳前後以上）を対象としております。

推薦に際しては、推薦理由書（様式は特に定めませんが業績目録を含むものとする）を学会事務局（下記）に郵送または E-mail への添付書類で送信してください。なお、特別賞候補者は本学会正会員からの他薦とします。

締め切りは、2026 年 3 月 31 日（消印有効）とします。本賞の規定は、日本哺乳類学会ホームページをご覧ください。問い合わせは、下記の事務局までお願いいたします。

学会事務局：

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12 愛知学院大学教養部生物学教室 日本哺乳類学会
庶務担当 常任理事：浅原正和

※メールでの送付は不着といった事態に備え、以下の 2 つのメールアドレス双方に送信していただけますと幸いです。メールは着信後、おおむね 2 営業日以内に受領のご連絡をいたします。返信がない場合、ご連絡をいただけますと幸いです。

E-mail 1: syomu_msj@mammalogy.jp

E-mail 2: asahara@dpc.agu.ac.jp

日本哺乳類学会 理事長 本川雅治

「第 19 回 (2026 年度) 日本哺乳類学会賞」授与候補者の推薦募集について

日本哺乳類学会賞規定により,「第 19 回 (2026 年度) 日本哺乳類学会賞」の選考を行います. つきましては, 学会員から候補者の推薦を募ります. この推薦に基づき, 選考委員会は候補者を選定し, 理事会による無記名投票によって投票総数の 5 分の 4 以上の賛成が得られた者を学会賞授賞者と決定します. なお, 学会賞は哺乳類学に関する一連の研究を通じて国際的にも評価される成果をあげ, 哺乳類学の発展に多大な貢献をした本学会正会員 (現役世代) を対象とし, 選考手続きを経て選ばれた個人に授けます. 学会賞候補者は本学会正会員からの他薦とします.

推薦に際しては, 推薦理由書 (様式は特に定めないが業績目録を含むものとする) を学会事務局 (下記) に郵送または E-mail への添付書類で送信してください. なお, 学会賞候補者は他薦とします.

締め切りは, 2026 年 3 月 31 日 (消印有効) とします. 本賞の規定は, 日本哺乳類学会ホームページをご覧ください. 問い合わせは, 下記の事務局までお願いいたします.

学会事務局:

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12 愛知学院大学教養部生物学教室 日本哺乳類学会
庶務担当常任理事: 浅原正和

※メールでの送付は不着といった事態に備え, 以下の 2 つのメールアドレス双方に送信していただきますと幸いです. メールは着信後, おおむね 2 営業日以内に受領のご連絡をいたします. 返信がない場合, ご連絡をいただけますと幸いです.

E-mail 1: syomu_msj@mammalogy.jp

E-mail 2: asahara@dpc.agu.ac.jp

日本哺乳類学会 理事長 本川雅治

「第 24 回 (2026 年度) 日本哺乳類学会奨励賞」募集について

日本哺乳類学会奨励賞規定により、日本哺乳類学会奨励賞(以下「奨励賞」と呼ぶ)は、哺乳類学の発展に寄与する優れた研究活動を展開し、今後の活躍が期待される若手の本学会員の中から、以下の選考手続きを経て選ばれた個人に授けます。奨励賞の応募は自薦とします。応募様式を日本哺乳類学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入して応募して下さい。また、応募にあたって本学会の学会誌への掲載論文や委員会・大会実行委員会等での活動実績は必要としませんが、審査においてはこれらも考慮されます。奨励賞選考委員会は若干名を奨励賞授賞候補者として選出し、理事会に推薦します。この推薦を受けて、理事会は授賞者を決定します。授賞者には賞状および日本哺乳類学会基金より 3 万円を贈呈します。受賞者は「奨励賞受賞者による研究紹介」を「哺乳類科学」に掲載する必要があります。また、その内容を含めた総説を「Mammal Study」に投稿し掲載された際には、その総説を無償でオープンアクセスとすることができます。お問い合わせは、日本哺乳類学会奨励賞選考委員長の福井大(fukuidai@uf.a.u-tokyo.ac.jp)までお願いします。

1. 様式は日本哺乳類学会ホームページよりダウンロードして下さい。
2. 本賞の規定は日本哺乳類学会ホームページをご覧ください。本賞の規定は、2021 年 11 月 21 日に改訂されました。
3. 授賞対象者として、応募締切日現在でおおむね 40 歳未満とし、会員歴は応募時の年度を含めて 3 年度以上とします。
4. 締切は 2026 年 3 月 31 日とします。応募書類は下記のメールアドレスまで Email にて送信して下さい。E-mail を送信する際に、タイトルは「日本哺乳類学会奨励賞応募書類」として下さい。

2021 年度の規定改定により応募の間口を広げ、応募者の業績を幅広く評価出来るように選出方針を変更しました。既に哺乳類学会で活躍している若手研究者だけでなく、国内外で活躍する若手研究者はもちろんのこと、これからの可能性を秘めた若手研究者の皆様も本賞へチャレンジして頂きたいと考えます。多くの方の応募をお待ちしております。

学会事務局:

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12 愛知学院大学教養部生物学教室日本哺乳類学会
庶務担当常任理事:浅原正和

※メールでの送付は不着といった事態に備え、以下の 2 つのメールアドレス双方に送信していただけますと幸いです。メールは着信後、おおむね 2 営業日以内に受領のご連絡をいたします。返信がない場合、ご連絡をいただけますと幸いです。

E-mail 1: syomu_msj@mammalogy.jp

E-mail 2: asahara@dpc.agu.ac.jp

日本哺乳類学会 理事長 本川雅治

「第 13 回(2026 年度)日本哺乳類学会功労賞」授与候補者の推薦募集について

日本哺乳類学会功労賞規定により、「第 13 回(2026 年度)日本哺乳類学会功労賞」の選考を行います。つきましては、学会員から候補者の推薦を募ります。この推薦に基づき、選考委員会は十分な審議を行い、功労賞授賞候補者を理事会へ推薦し、理事会の承認を得て決定します。なお、この賞は研究業績中心に選考されるのではなく、哺乳類学会や哺乳類学の発展、哺乳類学に関する知識の啓蒙、調査機材の普及、等に貢献した方々(会員だけでなく非学会員、故人を含む)を顕彰するものです。

推薦に際しては、推薦理由書および関連資料(様式は特に定めない)を学会事務局(下記)に郵送または E-mail への添付書類で送信してください。なお、功労賞候補者は本学会正会員からの他薦とします。

締め切りは、2026 年 3 月 31 日(消印有効)とします。本賞の規定は、日本哺乳類学会ホームページをご覧ください。問い合わせは、下記の事務局までお願いいたします。

学会事務局:

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12 愛知学院大学教養部生物学教室日本哺乳類学会
庶務担当常任理事:浅原正和

※メールでの送付は不着といった事態に備え、以下の2つのメールアドレス双方に送信していただけますと幸いです。メールは着信後、おおむね 2 営業日以内に受領のご連絡をいたします。返信がない場合、ご連絡をいただけますと幸いです。

E-mail 1: syomu_msj@mammalogy.jp

E-mail 2: asahara@dpc.agu.ac.jp

日本哺乳類学会 理事長 本川雅治

「2026 年度日本哺乳類学会優秀発表賞」募集について

日本哺乳類学会優秀発表賞規定により、日本哺乳類学会 2026 年度大会において優れた発表を行った発表者に、「2026 年度日本哺乳類学会優秀発表賞」を授けます。優秀発表賞へのエントリーを希望する方は、大会発表登録時に、該当欄にチェックを入れてください。

選考と結果の公表、表彰は大会期間中、総会にて行う予定です。詳細は 2026 年度大会のホームページにて公表します。また、選考結果は経過を含め「哺乳類科学」誌上に報告します。

日本哺乳類学会 理事長 本川雅治